

平成 27年 06月 02日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

山形雪国の家

グループの名称

山形雪国の家を創る会

直近採択グループ番号

04-0394-0074

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

川越 功

代表者印

代表者所属先

株式会社 楽々ホーム

代表者構成員番号

V-1, VI-1

代表者所在地

山形県山形市嶋北一丁目23-12

代表者電話番号

023-666-3555

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 楽々ホーム

事務局構成員番号

V-1, VI-1

事務局担当者名

本間 清二

印

事務局郵便番号

990-0885

事務局所在地

山形県山形市嶋北一丁目23-12

事務局電話番号

023-666-3555

事務局FAX

023-666-3556

事務局担当者E-mail

honma.s@rarahome.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	山形雪国の家
2. グループの名称(必須)	山形雪国の家を創る会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0394-0074
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	山形県全域・宮城県全域
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	川越 功
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 楽々ホーム
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	V-1, VI-1
9. グループ代表者所在地(必須)	山形県山形市嶋北一丁目23-12
10. グループ代表者電話番号(必須)	023-666-3555
11. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 楽々ホーム
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	V-1, VI-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	本間 清二
14. グループ事務局郵便番号(必須)	990-0885
15. グループ事務局所在地(必須)	山形県山形市嶋北一丁目23-12
16. グループ事務局電話番号(必須)	023-666-3555
17. グループ事務局FAX番号(必須)	023-666-3556
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	honma.s@rarahome.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	10	地域材において原木供給業者が一部国有林や海外がである為
II. 製材・集成材製造・合板製造	17	製材・集成材・合板製造が一部海外に有るため
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	6	
IV. プレカット	6	
V. 設計	8	施主様が依頼する設計事務所があるため
VI. 施工	18	
VII. 省エネルギー設備等の流通	2	
VIII. 木材を扱わない流通	2	
IX. I～VIII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	やまがた木	山形県内	県産木材「やまがたの木」認証制度	1	国内
	やまがた県産材集成材	山形県内	県産材「やまがたの木」認証制度のうちやまがた県産材集成材	1	国内
	山形県産材合板	山形県内	やまがた県産材合板認証制度	1	国内
	合法木材	全国	合法木材証明制度	2	国内
	合法木材	国外	合法木材証明制度	3	国外

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計 53 戸		地域材加算合計 53 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計 42 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 11 戸		
	うち申請が確実 10 戸	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 10 戸	
	うち申請が未確定 32 戸	うち申請が未確定 11 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 43 戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 5 戸	地域材加算合計 5 戸		
	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸		
	うち申請が未確定 5 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 5 戸		
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 2 戸	地域材加算合計 2 戸		
	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸		
	うち申請が未確定 2 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 2 戸		
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確実 0 棟	0 m ²		
	うち申請が未確定 2 棟	2000 m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	山形雪国の家を創る会の規約第五条の議決により配分戸数を確定する。			
---	----------------------------------	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 19 戸	交付申請戸数 19 戸	竣工済 3 戸	竣工予定 16 戸
	木造建築物			
	採択棟数 0 棟	採択床面積 0 m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 山形雪国の家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県全域・宮城県全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 山形雪国の家を創る会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0394-0074	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	高齢化社会において、住宅取得者が将来にわたり安心・安全に暮らせる住宅づくり 積雪を考慮した耐震等級2以上の性能、寒暖の差を省エネで和らげる断熱性能	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	山形雪国の家は高温多湿に対応、夏季の通風性を確保し省エネ性	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	山形雪国の家を創る会では、洋風デザインが多くなっている中目射遮蔽(軒の出)及び雪対策屋根形状	○
④①～③の背景	山形雪国の家を創る会として地域住宅の供給地域である山形県全域・宮城県全域では、在来工法が盛んで伝統的住宅が減少しつつある。会として良質な長寿型住宅・高度省エネ型住宅・優良建築物コストを考慮し消費者へ安心・安全な建築物の提供	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	山形雪国の家を創る会として出来る限り仕様の統一、断熱材、断熱サッシ等消費者へ受け入れやすいよう選択できる高性能のものを使用する。	◎
②建材・資材調達共同化や事務の合理化	着工物件情報を事務局へ提示し資材・建材の仕入れをメンバーと共有し連携をとる	○
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	施工委員会を設け定期的に(3ヶ月に一回)委員会を設ける。委員会は、事務局が連絡し決定事項は速やかに設計・施工構成員に報告。	○
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	事務局は木材、製材、集成材、流通、住宅設備に関する情報を収集し施工構成員へ情報提供する。 また、施工関連以外の構成員から施工、設計、その他の構成員に情報の協力を要請する。	○
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	地盤調査に基づく基礎形状及び構造、断熱性能をわかりやすい基準を作成し、構成員に周知し施主様へ説明をする。	○
②グループの信頼性向上に向けた検査ルール設定	基礎配筋検査、躯体検査、断熱検査を必ず実施する。 施主様へ写真を提示し説明する。	○
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	山形雪国の家を創る会では、見積の標準化を図るべく検討する。	○
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	山形雪国の家を創る会の施工現場のイメージ看板やノボリを設置するべく検討を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 山形雪国の家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県全域・宮城県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 山形雪国の家を創る会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0394-0074	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	住宅の履歴情報は、事務局へ提示するよう努める	
①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化		◎
②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	山形雪国の家において30年間の維持保全計画を作成し、実施するよう維持保全に努める。	◎
③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	施主様に対し住まい情報誌の配布また税制やお手入れ情報を提供する。	○
④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	グループ内に維持管理検討委員会を設けるよう検討する。	○
b		
①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制		
②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	グループ施工構成員は、瑕疵担保について加入は義務とし加入先は、施工構成員にて定める。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入		
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	長寿命型、高度省エネ型、未経験工務が多い、よって研修会等や現場研修を含め実践的な研修の実施。	
①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催		○
②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	長寿命型、高度省エネ型、施工技術研修会等の開催年2回程度実施する研修内容は、長寿命型、高度省エネ型や「長期優良住宅リフォーム推進事業」等を含めた内容とする。	○
③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	施工委員会において予定物件の資材調達、仕様と照らし合わせ中長期的に合理的な策定方法を探っていくことにする。	○
④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	各構成員は、事務局と連絡を取り合いコストダウンの工夫や施工改善策等を含め共有化する。	○
b	設計・施工構成員は省エネ技術講習の修了を義務とする。	
①省エネ技術講習会への参 加目標人数		◎
②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	未受講構成員に省エネ技術講習会の開催案内の情報提供し早めの受講をそくす。	◎
c		
①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法		
②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等		
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入	認定低炭素住宅・ゼロエネ住宅を早期に実現するため研修会の開催の実施	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 山形雪国の家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県全域・宮城県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 山形雪国の家を創る会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0394-0074	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	◎
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	
	②グループ全体における地域材の需給予測	
c	①-1 畳の活用	○
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	
	②地域の住まい方の継承につながる取組	
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	
	④和の住まいの要素を取入れた取組	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	○

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

<p>高度省エネ型の特徴</p> <p>認定低炭素住宅・優良建築物</p> <p>イ) 構造 : 木造軸組み工法(構造材柱・梁・桁・土台の過半を地域材を使用する。)</p> <p>* 耐震等級 : 2等級</p> <p>ロ) 建物断熱仕様</p> <p>* 等級4を上回る断熱仕様</p> <p>* 一次エネルギー消費量計算をする。</p> <p>* 開口部 : すべて断熱サッシとする。</p> <p>* 床下断熱 : 厚さ65mm以上とする。</p> <p>ハ) 高効率な設備機器</p> <p>* 暖冷房設備(高効率型エアコン)</p> <p>* 照明(白熱灯を仕様しない。)</p> <p>* 換気設備(ダクト式第三種換気設備)</p> <p>* エコ給湯(JIS効率3.7以上)</p> <p>* ヘッダー配管</p> <p>* 節湯蛇口2ヶ所以上</p> <p>ゼロエネルギー住宅</p> <p>* 上記イ)・ロ)・ハ)の項目</p> <p>* 創エネ(太陽光発電システム)</p>

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。